

令和8年版 国土交通白書 はじめに

戦後、我が国は道路や港湾、新幹線、空港などの大規模なインフラ・交通網の整備を推進し、経済成長の基盤を築き上げた。

構造的な人口減少が進む中、低迷する潜在成長率を克服し、持続的な経済成長を実現するためには、官民の資本投入量の増加に加え、限られた人材と時間で高い付加価値を生み出せるよう、生産性の向上が最重要課題となる。

今年の国土交通白書の第Ⅰ部では、「経済成長を牽引するハード・ソフトのインフラ」をテーマとし、経済成長の観点から、国土交通分野のインフラを俯瞰するとともに、生産性の向上に資する施策や取組を取り上げ、豊かな未来を展望する。

具体的には、まずインフラやそれを取り巻く経済社会の状況を整理し、国内外の政策動向や意識調査の結果を取り上げながら、生産性の向上の観点からインフラに期待される方向性を示している。その上で、成長を加速させるインフラへの新規投資、生産性を持続・向上させる既存インフラの活用・再構築、我が国の潜在力を開花させる新技術等の活用を三つの柱とし、行政や企業等が進める様々な取組等を紹介する。さらに、これらを踏まえ、インフラの課題と経済社会の課題が同時解決されるような未来を展望する。

第Ⅱ部では、令和7年度の国土交通行政の各分野の動向を、政策課題ごとに報告する。